

オリーブの林をぬけて (1994)

ZIR-E DERAKHTAN-E ZEYTOON
THROUGH THE OLIVE TREES

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 イラン

色彩 Color

時間 103分

初公開日 1994/12/10

公開情報 ユーロスペース

【解説】

「友だちのうちはどこ?」「そして人生はつづく」と続いた“ジグザグ道三部作”最終篇。「そして人生はつづく」の中に、大地震の翌日に式を挙げたという新婚夫婦の挿話があったが、それがきっかけとなり生まれた作品だ。実際の二人は夫役の青年が妻役の娘に求婚しても断られた関係。前作撮影中にこの事実を知った監督キアロスタミは、その僅か4分に満たないシーンから、一途で感動的な青春ラブ・ストーリーを練り上げた。大地震に見舞われ、瓦礫と化したイラン北部の村。映画の撮影を手伝っていた地元の青年ホセインは、この夫役に抜擢され、文盲だという理由でフラれた現実と役柄を混同して、更なるアタックに励む。出番が終われば妻を演じる初恋の少女タヘレは通う学校のある町に去ってしまい、もう逢えない。彼女を乗せたトラックが往く。ホセインはそれを追ってひた走る。オリーブの林を抜け、草原のジグザグ道を通して…。映画の監督キアロスタミの自由な語り口が堪能できる、全ての物語が微妙な入れ子構造になっているこの連作だが、とりわけ虚実ないませの本作は、映画に生きる願望を観る者に誘い込む稀有の作品として、同じ年に公開されたカネフスキーの「動くな、死ね、甦れ!」と共に永遠に記憶されるべき傑作である。

【クレジット】

監督	アッバス・キアロスタミ	Abbas Kiarostami
製作	アッバス・キアロスタミ	Abbas Kiarostami
脚本	アッバス・キアロスタミ	Abbas Kiarostami
撮影	ホセイン・ジャファリアン	Hossein Djafarian
	ファルハッド・サバ	Farhad Saba
出演	ホセイン・レザイ	
	モハマッド・アリ・シャバーズ	
	タヘレ・ラダニアン	